

平成28年度 長浜市民満足度調査 調査結果

【概要版】

長浜市は平成23年9月に改定した「長浜市基本構想（平成19年度策定）」において、10年後の将来像を『協働でつくる 輝きと風格のあるまち 長浜』と定め、各施策・事業の取組を進めています。目指すべき将来像を実現するためには、市の現状と課題を踏まえ、市民と行政が協働し、本構想を基に各施策・事業に取り組むことが必要です。

そこで、今後の施策推進の基礎資料とするため、「長浜市民満足度調査」を実施しました。

■意識調査の概要

- 調査期間 : 平成28年5月31日（火）～6月13日（月）
 調査対象者 : 18歳以上の長浜市民（住民基本台帳から各地域の人口の割合に応じて無作為抽出）
 調査票配布枚数 : 5,000件（2,500人×2調査票）
 有効回収数 : 2,129件（回収率 42.6%）
 回答者属性 : 男性42.9%、女性52.8%、不明・無回答4.3%

	回収数	割合
男性	913	42.9%
女性	1,125	52.8%

	回収数	割合
29歳以下	197	9.4%
30～44歳	383	18.4%
45～59歳	531	25.5%
60～69歳	545	26.1%
70歳以上	429	20.6%

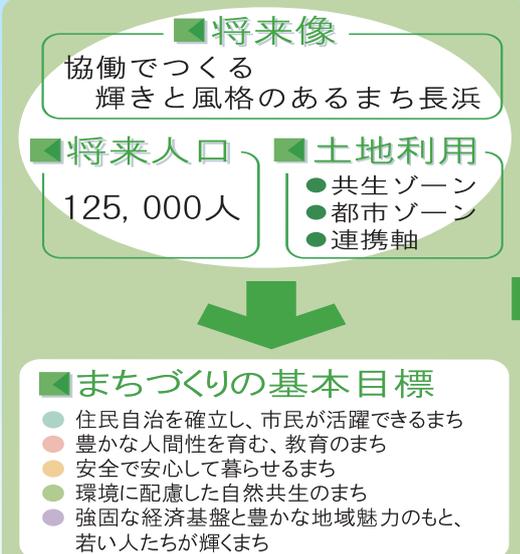
- 主な調査内容 : 1) 長浜市基本構想に定められた11の基本施策と57の施策（取組）に対する満足度と重要度
 2) 長浜市の住みよさ、3) 情報サービスの利用について、4) 運動やスポーツについて

※この概要版では一部の結果のみを掲載しています。

■長浜市基本構想（平成19年6月策定、平成23年9月変更）

長浜市基本構想は、市の現状と課題を踏まえつつ、10年後の市の姿を展望して、目指すべき将来像を定め、その実現に向けて市民と行政が協働して取り組むまちづくりの基本指針となるものです。

長浜市基本構想全体の体系



■基本となる施策の大綱

- (1) 住民自治のまちづくり
- (2) お互いを認め合い、すべての人がいきいきと輝くまちづくり
- (3) 学びの環境が充実したまちづくり
- (4) 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり
- (5) 災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり
- (6) 子どもが元気で、子育て安心のまちづくり
- (7) 自然を守り育てるまちづくり
- (8) 地球にやさしいまちづくり
- (9) 地域の魅力を高めるまちづくり
- (10) たくましい経済基盤をつくるまちづくり
- (11) 住み良さを高めるまちづくり

■構想実現のための行政推進の取組

■基本となる 11 施策の満足度と重要度

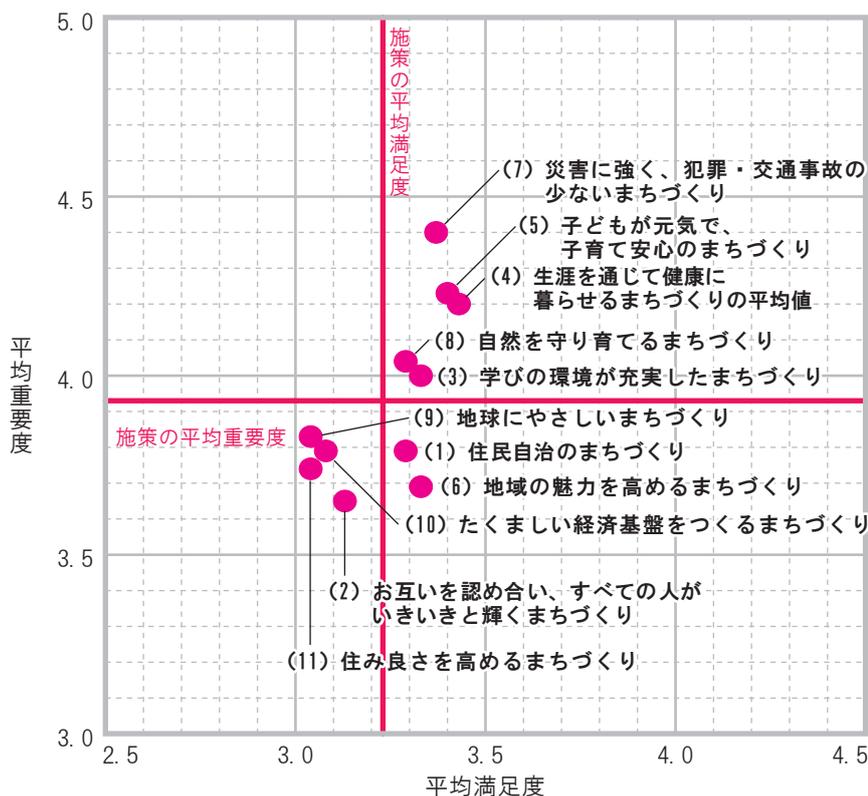
□全施策に対する満足度の平均は 3.23、重要度の平均は 3.93、ニーズ得点は 10.89 となっています。

□11 の基本施策別にみると、満足度は全て 3.0 を上回っています。また、重要度は全て 3.6 を上回っています。

□満足度が高いのは、(4) 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり (3.43)、(5) 子どもが元気で、子育て安心のまちづくり (3.40)、(7) 災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり (3.37) などです。この 3 つの分野については、重要度も高くなっています。

□満足度が低いのは、(9) 地球にやさしいまちづくり (3.04)、(11) 住み良さを高めるまちづくり (3.04)、(10) たくましい経済基盤をつくるまちづくり (3.06)、(2) お互いを認め合い、すべての人がいきいきと輝くまちづくり (3.13) などとなっています。

□ニーズ得点は、(7) 災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり (11.57)、(9) 地球にやさしいまちづくり (11.36) などが高くなっています。



満足度と重要度については、下表に示すように、各施策について、5段階で評価してもらい、これに1点から5点の点数をつけ、その平均点（加重平均）を算出しています。したがって、点数が高いほど、その施策の取り組みに対する満足度が高く、また、その施策の今後の取り組みが重要だとする認識が強くなっています。

現在の満足度（行政評価）	
とてもよくやっている	5点
まあまあよくやっている	4点
どちらともいえない	3点
あまりやっていない	2点
やっていない	1点

今後の重要度	
とても重要	5点
まあまあ重要	4点
どちらともいえない	3点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点

■基本となる 11 施策のニーズ得点の変化

施策（取組）	ニーズ得点の経年変化		
	今回	H27	類型
基本11施策（全57施策）の平均	10.89	11.03	低下
(1) 住民自治のまちづくり	10.29	10.42	低下
(2) お互いを認め合い、すべての人がいきいきと輝くまちづくり	10.46	10.81	低下
(3) 学びの環境が充実したまちづくり	10.69	10.32	増加
(4) 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり	10.80	10.98	低下
(5) 子どもが元気で、子育て安心のまちづくり	10.99	11.20	低下
(6) 地域の魅力を高めるまちづくり	9.85	10.27	低下
(7) 災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり	11.57	10.49	増加
(8) 自然を守り育てるまちづくり	10.95	10.75	増加
(9) 地球にやさしいまちづくり	11.36	10.48	低下
(10) たくましい経済基盤をつくるまちづくり	11.05	10.64	増加
(11) 住み良さを高めるまちづくり	11.08	9.69	増加

□基本施策全体のニーズ得点の変化をみると、平成27年と比較して、ニーズ得点は低下してきています。

□11の施策別にみると、「災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり」などでニーズ得点が高く、行政需要が強いと考えられます。

□11の施策別に得点の変化をみると、9つの施策でニーズ得点が低下してきています。

※ニーズ得点は、内閣府が実施している調査などでも指標の一つとして用いられるもので、重要度が高く、満足度が低い項目ほど得点が高くなります。詳細は6ページを参照してください。

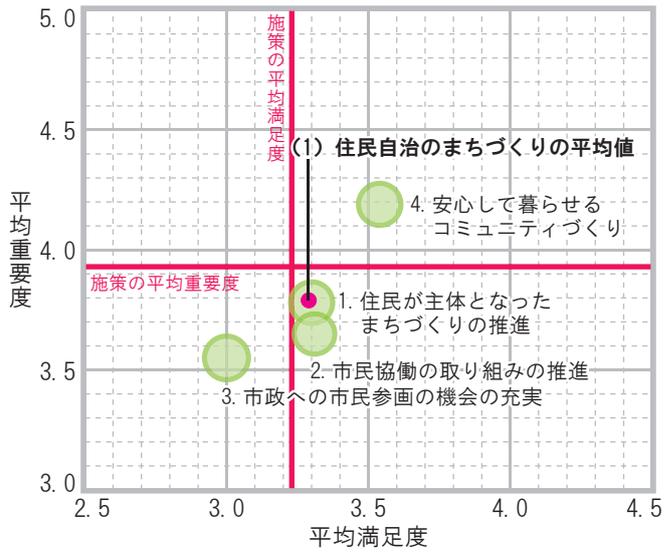
■基本となる 11 施策の満足度と重要度

※緑の円の大きさは、ニーズ得点の大きさに比例している。

1 住民自治のまちづくり

多様化する市民ニーズや地域社会の課題解決に的確・効果的に取り組みながら、市民が主体となって考える住民自治のまちづくりを進めます。また、地域づくり協議会や自治会、NPOの自主的な支え合い活動を円滑に進め、市民に一体感が芽生える仕組みをつくりまします。

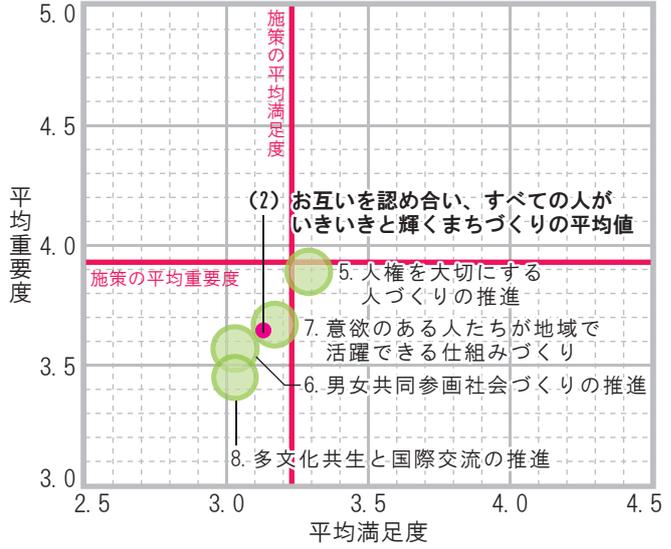
- 「4. 安心して暮らせるコミュニティづくり」が、満足度と重要度の両方で高くなっています。この「コミュニティづくり」の施策を除くと、他の3施策については、重要度が平均重要度を下回っています。
- 「3. 市政への市民参画の機会の充実」は、特に満足度・重要度ともに低くなっています。



2 お互いを認め合い、すべての人がいきいきと輝くまちづくり

価値観や生活様式の違いなど、互いを認め合い、尊重し、それぞれの個性を生かしながら、市民の誰もが夢をもっていきいきと活躍できるまちづくりを進めます。

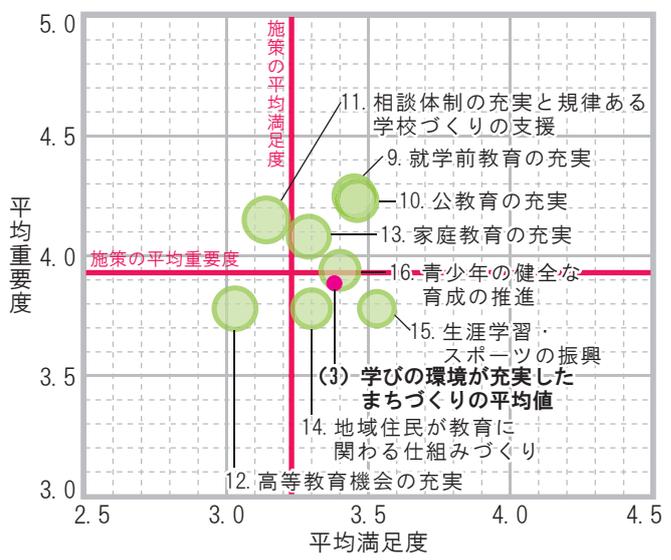
- 「5. 人権を大切にする人づくりの推進」を除く全ての施策が、全体の平均満足度と平均重要度を下回っています。
- 特に、「6. 男女共同の参画社会づくりの推進」及び「8. 多文化共生と国際交流の推進」については満足度・重要度ともに非常に低い値となっています。



3 学びの環境が充実したまちづくり

就学前教育、学校教育、高等教育、家庭教育、社会教育など、地域に暮らす人が生涯にわたり、必要な時期に必要な教育を受けることができ、また地域への愛着を持ち、豊かな人間性を養うことができるよう、学びの環境の充実を図ります。

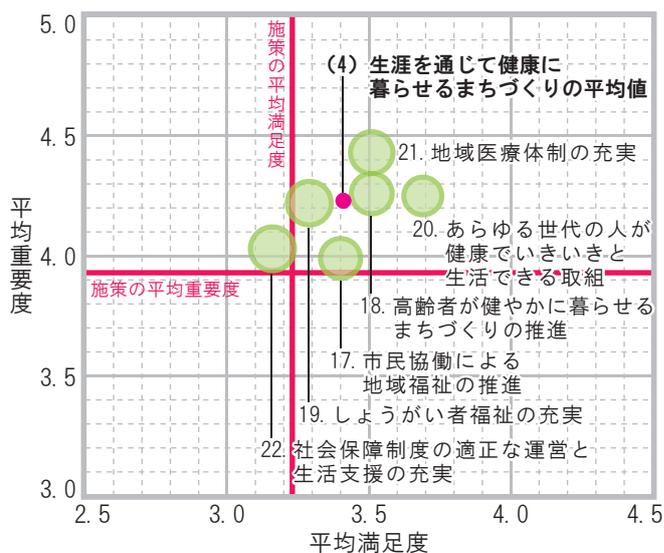
- 施策によって、満足度と重要度がかなり異なっています。
- 「15. 生涯学習・スポーツの振興」や、「10. 公教育の充実」、「9. 就学前教育の充実」は満足度が高い値となっています。反対に、「12. 高等教育機会の充実」は満足度が低い値となっています。
- 重要度をみると、「9. 就学前教育の充実」、「10. 公教育の充実」や「11. 相談体制の充実と規律ある学校づくり」において高く、「12. 高等教育機会の充実」、「14. 地域住民が教育に関わる仕組みづくり」、「15. 生涯学習・スポーツの振興」において低い値となっています。



4 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり

市民が生涯をいきいきと生活できるよう、医療や社会保障、地域福祉の充実、市民自らの健康づくりの取組を促します。また、高齢者やしょうがいのある人が安心して生活できるための取組など、すべての市民が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

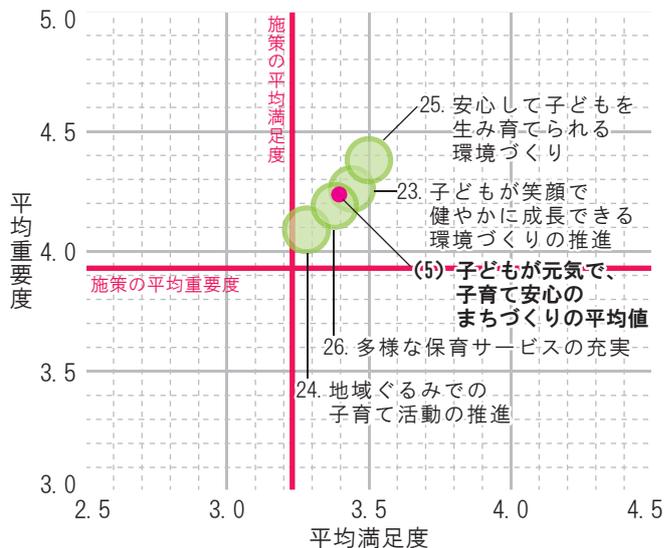
- 6施策のうち、5施策において、満足度・重要度ともに平均を上回っています。
- 特に、「21. 地域医療体制の充実」や「20. あらゆる世代の人が健康でいきいきと生活できる取り組み」において、値が高くなっています。
- 一方、「22. 社会保障制度の適正な運営と生活支援の充実」は、重要度が平均値を上回っていても、満足度は平均値を下回っています。



5 子どもが元気で、子育て安心のまちづくり

保護者はもちろん、学校、地域住民、行政が連携して、子どもが健やかに育ち、また子どもを安心して育てられる環境整備に取り組めます。また、子育てへの市民の関心を高め、地域ぐるみでの子育て環境を充実します。

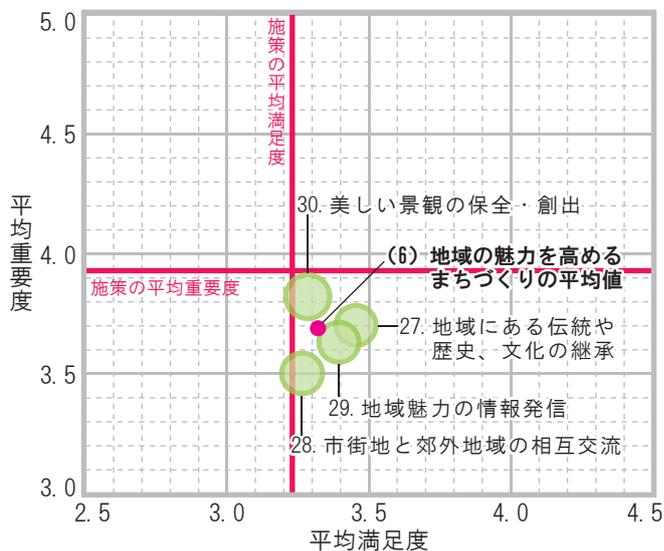
- 4つの施策は全て、満足度・重要度ともに平均値より高い値となっています。
- 特に、「23. 子どもが笑顔で健やかに成長できる環境づくりの推進」、「29. 安心して子どもを産み育てられる環境づくり」といった“環境づくり”の施策において、満足度・重要度ともに高い値となっています。



6 地域の魅力を高めるまちづくり

市民がいつまでもこの地域で住み続けたいと感じるために、地域に愛着と誇りを持てる取組を進めます。また、まちの美しい景観を守り育てるなど、豊かな地域資源に磨きをかけながら、魅力のあるまちづくりを推進します。

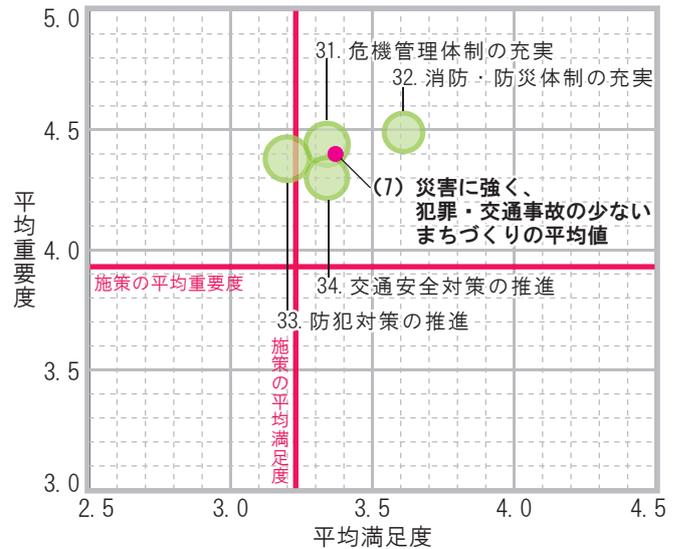
- 4つの施策全てにおいて重要度が平均値を下回っています。
- 満足度については、「27. 地域にある伝統や歴史、文化の継承」においてやや高い値となっているものの、その他の施策は概ね平均値付近となっています。



7 災害に強く、犯罪・交通事故の少ないまちづくり

安全を脅かすあらゆる危機や有事に迅速に対応できる危機管理体制を整備します。
また、地震や風水害・原子力災害などに備えて、地域防災体制を充実強化し、災害に強いまちづくりに取り組みます。さらに防犯環境の整備充実や交通安全教育の推進など、犯罪・交通事故の少ない安全で安心なまちづくりに取り組みます。

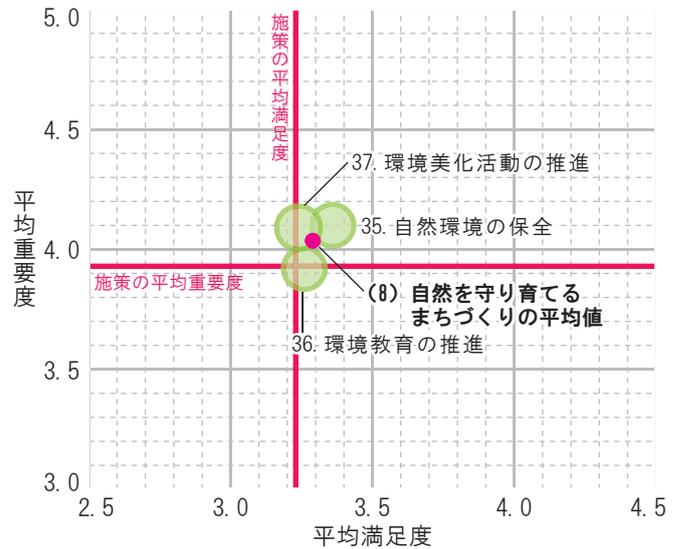
- 満足度については、「33. 防犯対策の推進」を除く施策全てにおいて、平均値よりも高くなっています。なかでも、「32. 消防・防災体制の充実」が突出して高い値となっています。
- 重要度については、4 施策全てにおいて平均重要度を上回っていることから、満足度と併せて市民の関心が非常に高い分野だと言えます。



8 自然を守り育てるまちづくり

豊かな緑や多様な生物などのかけがえのない自然を次世代に引き継いでいくため、市民と行政が一体となって保全に取り組みます。また、市民一人ひとりが環境問題を考え、身近な保全活動や生物の生育・生息空間の保全に取り組みます。

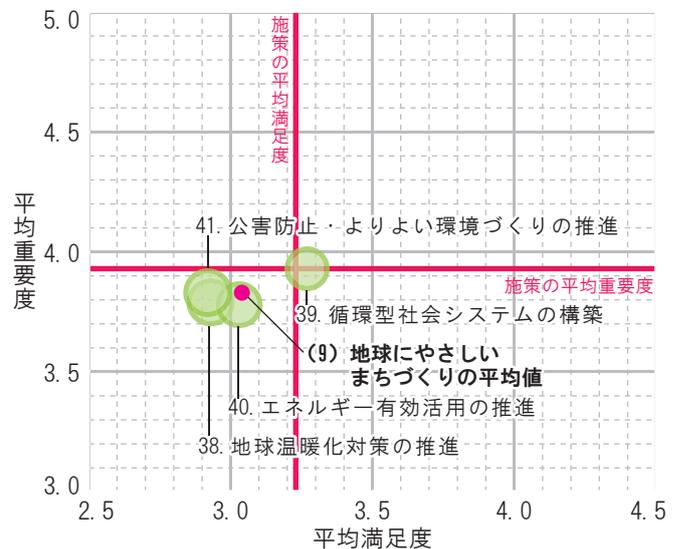
- 重要度・満足度ともに、概ね全体平均値付近に位置しています。
- 「35. 自然環境の保全」、「37. 環境美化活動の推進」における重要度が平均値を上回り、満足度については3 施策全てにおいて平均値を上回っています。



9 地球にやさしいまちづくり

地球温暖化を抑制し、住みよい環境を守るために、温室効果ガスの削減に向けた取組を進めるとともに、市民や事業者、行政などそれぞれの主体が環境負荷の少ない生活様式や事業活動を推進するなど、資源循環型社会の構築を図ります。

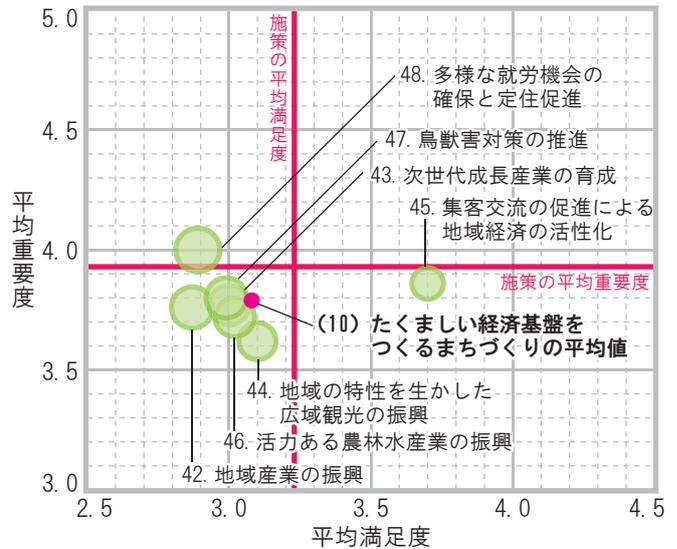
- 「39. 循環型社会システムの構築」を除く全ての施策において、重要度・満足度ともに平均値を下回っています。
- 「41. 公害防止・よりよい環境づくりの推進」、「38. 地球温暖化対策の推進」、「40. エネルギー有効活用の推進」の3つの施策は、満足度が特に低く、平均値を大きく下回っています。この3施策は、重要度の値も平均値を下回っており、市民の関心が低い施策と言えます。



10 たくましい経済基盤をつくるまちづくり

地域産業の基盤を安定的に確保するとともに、次世代成長産業の創出や育成、観光をはじめとする新たな集客交流の創出等による地域経済の活性化、活力ある農林水産業の展開など、産業の競争力や地域経済の活力を高める取組を進めます。

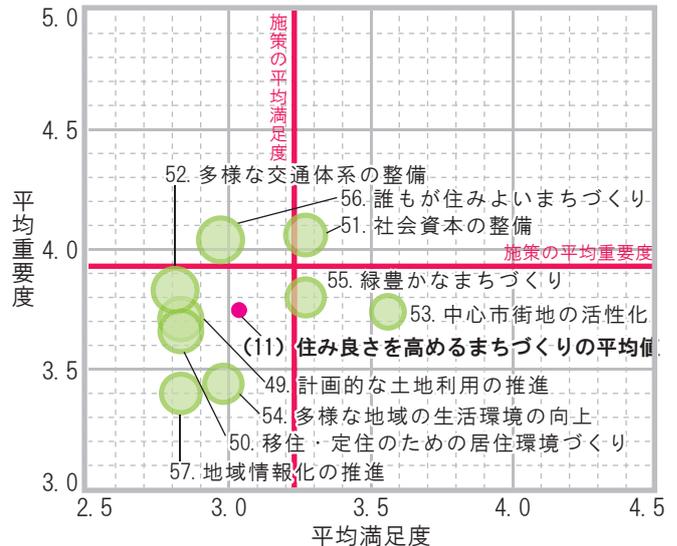
- 「45. 集客交流の促進による地域経済の活性化」を除く6施策で、満足度の平均値を下回っています。
- 「48. 多様な就労機会の確保と定住促進」を除く6施策で、重要度の平均値を下回っています。
- 全体的には、重要度・満足度ともに平均値を下回る施策が多く、市民の関心が低い施策分野と言えます。



11 住み良さを高めるまちづくり

住環境の整備や都市機能の確保、集落環境の整備など、全ての人に住みやすいまちづくり、特に若い人たちや子育て世代に魅力があり、それぞれのライフスタイルに応じて地域で継続的に活躍できる場と機会を安定的に確保し、住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを進めます。

- 満足度をみると、大きく2つのグループに分けられる。「53. 中心市街地の活性化」、「51. 社会資本の整備」、「55. 緑豊かなまちづくり」については満足度の平均値を上回っていますが、他の6施策は平均値を下回っています。
- 重要度も、「51. 社会資本の整備」と「56. 誰もが住みよいまちづくり」の2施策を除く、他の7施策は平均重要度を下回っています。



■57の施策の満足度・重要度とニーズ得点の変化

- 平成27年と今回(28年)の調査の、満足度、重要度、ニーズ得点を右ページに示しています。
- 「多様な交通体系の整備」、「移住・定住のための居住環境づくり」、「地域情報化の推進」、「計画的な土地利用の推進」、「次世代成長産業の育成」などで満足度が低くなっています。一方、「消防・防災体制の充実」、「危機管理体制の充実」、「地域医療体制の充実」、「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」、「防犯対策の推進」などで重要度が高くなっています。
- ニーズ得点については、「多様な就労機会の確保と定住促進」、「防犯対策の推進」、「誰もが住みよいまちづくり」、「多様な交通体系の整備」、「相談体制の充実と規律ある学校づくりの支援」など、多様な分野にわたってニーズ得点の高い施策が見られます。
- ニーズ得点の変化をみると、ニーズ得点が低下してきている「低下型」が37施策あります。一方、「消防・防災体制の充実」、「多様な交通体系の整備」、「緑豊かなまちづくり」の3施策については、ニーズ得点が高くなってきている「増加型」になっています。

ニーズ得点は、「重要度が高く、満足度が低い」項目を定量的に評価する指標で、重要度と満足度によって変化し、重要度が高くしかも満足していない施策ほど高くなるという関係にある。算定は以下の式による。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度} \times (6 - \text{満足度})$$

■57 施策の満足度・重要度・ニーズ得点とその変化

	施策（取組）	満足度（行政評価）		重要度		ニーズ得点		類型
		今回	H27	今回	H27	今回	H27	
1	住民が主体となったまちづくりの推進	3.30	3.27	3.78	3.78	10.20	10.32	低下
2	市民協働の取組の推進	3.31	3.28	3.65	3.66	9.83	9.96	低下
3	市政への市民参画の機会の充実	3.00	2.97	3.55	3.54	10.67	10.73	低下
4	安心して暮らせるコミュニティづくり	3.54	3.46	4.19	4.17	10.29	10.59	低下
5	人権を大切に作る人づくりの推進	3.29	3.18	3.89	3.85	10.53	10.86	低下
6	男女共同参画社会づくりの推進	3.03	2.98	3.57	3.60	10.63	10.87	低下
7	意欲のある人たちが地域で活躍できる仕組みづくり	3.17	3.10	3.67	3.65	10.37	10.59	低下
8	多文化共生と国際交流の推進	3.03	3.00	3.45	3.45	10.25	10.35	低下
9	就学前教育の充実	3.45	3.42	4.25	4.21	10.83	10.86	低下
10	公教育の充実	3.46	3.44	4.23	4.21	10.73	10.78	低下
11	相談体制の充実と規律ある学校づくりの支援	3.14	3.03	4.15	4.23	11.87	12.56	低下
12	高等教育機会の充実	3.03	2.94	3.78	3.71	11.21	11.35	低下
13	家庭教育の充実	3.29	3.18	4.08	4.07	11.07	11.48	低下
14	地域住民が教育に関わる仕組みづくり	3.30	3.20	3.78	3.79	10.21	10.61	低下
15	生涯学習・スポーツの振興	3.53	3.48	3.78	3.74	9.32	9.42	低下
16	青少年の健全な育成の推進	3.40	3.30	3.94	3.95	10.25	10.67	低下
17	市民協働による地域福祉の推進	3.40	3.38	3.99	4.03	10.37	10.56	低下
18	高齢者が健やかに暮らせるまちづくりの推進	3.51	3.47	4.26	4.33	10.62	10.95	低下
19	しょうがい者福祉の充実	3.29	3.33	4.22	4.26	11.41	11.37	増加
20	あらゆる世代の人が健康でいきいきと生活できる取組	3.69	3.71	4.25	4.32	9.84	9.89	低下
21	地域医療体制の充実	3.51	3.47	4.43	4.47	11.03	11.31	低下
22	社会保障制度の適正な運営と生活支援の充実	3.16	3.09	4.03	4.02	11.45	11.70	低下
23	子どもが笑顔で健やかに成長できる環境づくりの推進	3.44	3.42	4.26	4.27	10.90	11.02	低下
24	地域ぐるみでの子育て活動の推進	3.28	3.28	4.09	4.14	11.13	11.26	低下
25	安心して子どもを生み育てられる環境づくり	3.50	3.45	4.38	4.42	10.97	11.27	低下
26	多様な保育サービスの充実	3.38	3.35	4.19	4.19	10.95	11.10	低下
27	地域にある伝統や歴史、文化の継承	3.44	3.38	3.73	3.77	9.55	9.88	低下
28	市街地と郊外地域の相互交流	3.25	3.19	3.53	3.57	9.73	10.03	低下
29	地域魅力の情報発信	3.38	3.31	3.66	3.68	9.59	9.90	低下
30	美しい景観の保全・創出	3.27	3.23	3.85	3.88	10.50	10.75	低下
31	危機管理体制の充実	3.34	3.40	4.44	4.46	11.83	11.60	増加
32	消防・防災体制の充実	3.61	3.62	4.49	4.50	10.73	10.71	増加
33	防犯対策の推進	3.20	3.23	4.38	4.40	12.25	12.19	増加
34	交通安全対策の推進	3.34	3.29	4.30	4.29	11.45	11.63	低下
35	自然環境の保全	3.36	3.33	4.10	4.15	10.84	11.08	低下
36	環境教育の推進	3.26	3.27	3.92	3.93	10.73	10.73	低下
37	環境美化活動の推進	3.24	3.26	4.09	4.15	11.27	11.37	低下
38	地球温暖化対策の推進	2.93	2.94	3.79	3.85	11.63	11.78	低下
39	循環型社会システムの構築	3.27	3.35	3.93	3.99	10.70	10.57	増加
40	エネルギー有効活用の推進	3.03	2.98	3.78	3.89	11.25	11.75	低下
41	公害防止・よりよい環境づくりの推進	2.92	2.88	3.83	3.83	11.81	11.95	低下
42	地域産業の振興	2.87	2.82	3.76	3.77	11.75	11.99	低下
43	次世代成長産業の育成	3.00	2.96	3.77	3.79	11.29	11.52	低下
44	地域の特性を生かした広域観光の振興	3.10	3.16	3.62	3.69	10.47	10.48	低下
45	集客交流の促進による地域経済の活性化	3.70	3.63	3.86	3.85	8.89	9.12	低下
46	活力ある農林水産業の振興	3.02	2.94	3.72	3.75	11.11	11.48	低下
47	鳥獣害対策の推進	2.99	3.00	3.80	3.86	11.42	11.58	低下
48	多様な就労機会の確保と定住促進	2.89	2.90	4.00	3.95	12.43	12.25	増加
49	計画的な土地利用の推進	2.83	2.80	3.71	3.76	11.76	12.03	低下
50	移住・定住のための居住環境づくり	2.83	2.80	3.66	3.67	11.60	11.74	低下
51	社会資本の整備	3.27	3.27	4.06	4.05	11.10	11.06	増加
52	多様な交通体系の整備	2.81	2.84	3.83	3.77	12.20	11.91	増加
53	中心市街地の活性化	3.56	3.40	3.74	3.73	9.11	9.70	低下
54	多様な地域の生活環境の向上	2.98	2.91	3.44	3.43	10.39	10.60	低下
55	緑豊かなまちづくり	3.27	3.27	3.80	3.76	10.37	10.26	増加
56	誰もが住みよいまちづくり	2.97	2.90	4.04	4.03	12.24	12.49	低下
57	地域情報化の推進	2.83	2.78	3.40	3.34	10.78	10.75	増加

平均満足度 3.23以下 3.00未満 2.90未満
 平均重要度 4.40以上 4.20以上 3.93以上
 ニーズ得点 12.00以上 11.50以上 11.03以上

■長浜市の「住みよさ」

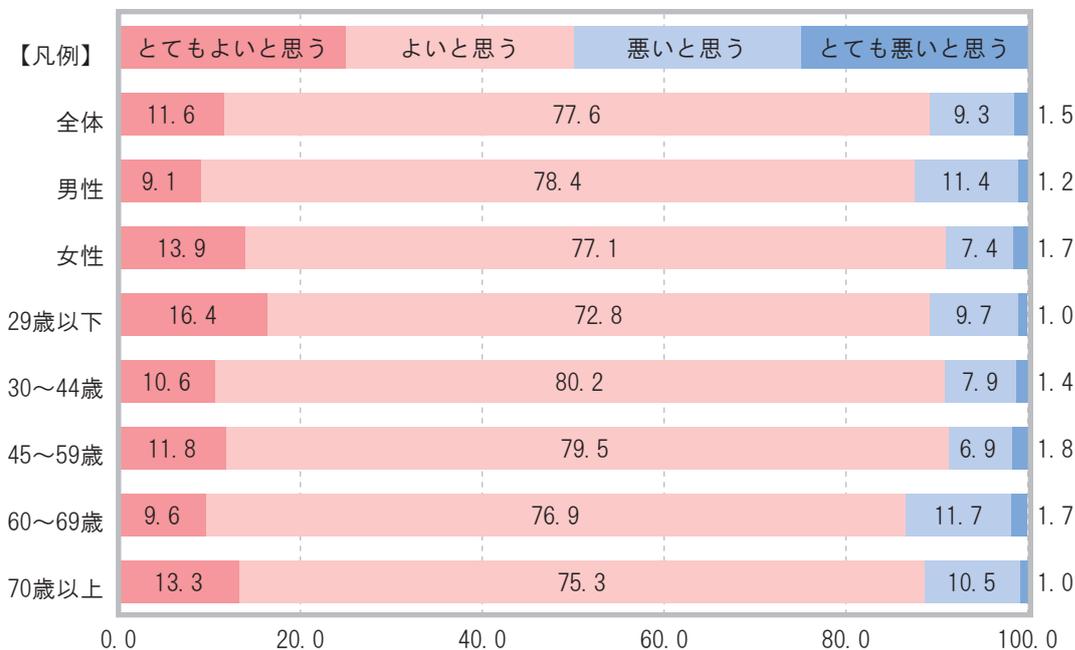
問 長浜市の「住み心地」についてどう思いますか？

□「とてもよいと思う」が11.6%、「よいと思う」が77.6%で、およそ89%の市民が「よい」と思っています。

□性別では、女性の方がわずかに評価が高くなっています。

□年齢別では、18～24歳、40～44歳、60～64歳、65～69歳等で「悪いと思う」がやや多くなっていることが注目されます。

□地域別（居住地別）では、木之本、西浅井、余呉の北部地域や、虎姫地域で「悪いと思う」がやや多くなっています。



問 あなたが思う長浜市の「良いところ」、「愛着・誇りを感じる」ところは、どのようなことですか。

□「歴史・伝統があるまち」（68.9%）、「自然や緑が豊かなまち」（69.0%）の2つが大きくなっています。以下、「人柄や風習、郷土愛などの地域性」（28.3%）が続いており、その他の選択肢は低い値となっています。

□「環境・再生エネルギーに配慮したまち」、「農林漁業が盛んなまち」、「しょうがいのある人が住みよいまち」といった、環境、第一次産業、福祉といった分野での評価は極めて低い状況にあります。

